

指定都市大会 千葉市大会 第一分科会 第二次アンケート結果

(第一次アンケート結果の他協議会へ聞いてみたい事より)

1, 行政・教育委員会へ要望書を提出する際、要望を集める範囲や方法はどのようにされていますか？

○相模原市 P T A 連絡協議会

全ての単 P から吸い上げ、地区ごとに精選したものを本部でまとめ、書面で提出している

○静岡市 P T A 連絡協議会

【範囲】 提言活動を行うにあたっては、市 P 連会員である全ての単 P 会員から意見を募っています。

【方法】 紙媒体と Google フォームで募集しています。

紙媒体は学校経由で配布し、市 P 連事務局あてに提出してもらっています。また、Google フォームは市 P 連ホームページへ QR コードを掲載する方法、市内 12 のブロック毎に組織されている LINE グループを使った共有拡散、LINE 公式アカウントを使った配信を行っています。

○堺市 P T A 協議会

要望を集める範囲については、市 P 理事・役員・評議員及び繋がりのある P T A 会員評議会や会議の場での意見集約

○京都市 P T A 連絡協議会

単位 P T A から意見を募集している

○(一社)北九州市 P T A 協議会

【範囲】 全ての加入単 P

【方法】 ①事務局から学校代表メール②理事会→区連合会長→単 P 会長へは LINE

○熊本市 P T A 協議会

グーグルフォームや紙面で回収

○横浜市 P T A 連絡協議会

各区部 P 連から幅広く要望を募集

2, 行政との要望書提出や懇談会の場において、協議会としてどのような内容を伝えたり、要望したりしていますか？

○相模原市 P T A 連絡協議会

子どもの居場所づくり、不登校対策、学習環境づくり、学びの充実、学校施設などのカテゴリーに分けて要望している

○静岡市 P T A 連絡協議会

提言書を首長に提出する際に、首長に対し提言内容のプレゼンテーションを行います。懇談会などの場では、市 P 連会長、副会長、市内 12 のブロックから選出された理事が市内保護者の代表として、提言を補強する保護者の生の声を首長や教育長、行政主管局長等に伝えています。

○堺市 P T A 協議会

学校施設の改善について、部活動の外部委託について、いじめ不登校について、学童保育について、学校給食について、学校・家庭の連携について、学校長の裁量について、ICT 教育について、市教委の取り組みについて、教職員・市教委の働き方改革について

○京都市 P T A 連絡協議会

令和 6 年度懇談会内容

- ・教育的支援が必要な子供や障害のある子供について
- ・学校 ICT と情報モラル教育について
- ・教員の人材確保について"

○（一社）北九州市 P T A 協議会

- 1 特別教室や体育館のエアコン整備
- 2 トイレの改善
- 3 インターネット環境の強化
- 4 教職員の定数確保と充実

○熊本市 P T A 協議会

給食職場改善・教員の人員配置体制・学校の環境整備など

○横浜市 P T A 連絡協議会

必要と思われる要望などを請願書として提出

例:学校管理費の在り方、教職員の増員など。

3, 区Pや単Pなどと情報連携をとるためのツール（システム）として、何を活用されていますか？

○相模原市PTA連絡協議会

メールや googleforms を活用している

○静岡市PTA連絡協議会

単Pなどと情報連携をとるためのツールとしては、LINE および LINE 公式アカウントを使用しています。

○堺市PTA協議会

スクリレアプリ

○京都市PTA連絡協議会

メール

○（一社）北九州市PTA協議会

これまでは①事務局から学校代表メール②理事会→区連合会長→単P会長へはLINE

今後は自前で開発したクラウドシステム motto

○熊本市PTA協議会

LINE 活用・BOX 活用・グーグルドライブ・LINEWORKS など

○横浜市PTA連絡協議会

LINE Works

○千葉市PTA連絡協議会

マ・メール

4, 協議会への加入・退会については、どのように対応されていますか？

○相模原市 P T A 連絡協議会

加入も退会も口頭で受け、退会については当該校 PTA に本部役員が出向き、役員および校長とその判断に至った経緯や意思確認を対面で行っている。

○静岡市 PTA 連絡協議会

協議会への加入・退会については、退会意思を示された単 P の会長に対して市 P 連から以下の事項を確認しています。

(1)退会意思は貴会の総意であるか

(2)校長との協議は整っているか

(3)会員に「子ども総合補償制度」が利用できなくなることを説明したか

→単 P の協議会脱退意思が単 P 会長の独断であるケースが往々にしてあるため、市 P 連としては単に退会希望を受け取るのではなく、(1)~(3)の事実確認を必ず行うようにしています。

○堺市 PTA 協議会

真摯に受けとめる

○京都市 PTA 連絡協議会／横浜市 PTA 連絡協議会

その都度対応

○（一社）北九州市 PTA 協議会／千葉市 PTA 連絡協議会

加入届けの運用は無し

退会時の届けのみ

○熊本市 PTA 協議会

基本的に各学校の任意。相談を受けながら対応

5, 市 P 連では、単 P から加入届を提出してもらっていますか？

○静岡市 PTA 連絡協議会

現在静岡市 P 連では、単位 PTA に加入届の提出を求めています。しかしながら、市 P 連が単位 PTA 会長に配布している「静岡市 PTA 運営の手引き」において単 P に対し「PTA 運営の適正化」のために加入届の手続きの導入を勧めていることから、市 P 連自身も然るべきタイミングで加入届を導入しなければならないものと認識しています。

○熊本市 PTA 協議会

提出頂いている

○相模原市 P T A 連絡協議会／堺市 PTA 協議会／京都市 PTA 連絡協議会／

（一社）北九州市 PTA 協議会／横浜市 PTA 連絡協議会／千葉市 PTA 連絡協議会

加入届の提出は無し

6, PTA 会費のキャッシュレス集金の方法について教えてください。

○静岡市 PTA 連絡協議会

静岡市 P 連ではキャッシュレス集金を行っている単 P は把握しておりません。単 P から市 P 連に対し、キャッシュレス集金を行える仕組みを構築・展開して欲しいという要望は年に数件受けていますが、現在のところ、市 P 連負担で各単 P がキャッシュレス集金を行えるサービスを導入する計画はありません。静岡市 P 連ではキャッシュレス集金を実施するかどうかは各単 P に委ねており、各単 P が独自に集金を行うための情報提供をしつつ、独自集金が行えるようになるまでの猶予措置として、PTA 会費を学校預かり金の集金に併せて徴収してもらうよう校長会に対して毎年依頼をかけております。

○千葉市 PTA 連絡協議会

学校にお金を持ってこない動きがあり（教材販売や PTA 会費等）、情報交換会や区 P 理事会等で単 P のキャッシュレス集金の話が近年できようになった。協議会として今年からキャッシュレス集金システムを運用。単 P の負担減への協力をしていく。

○熊本市 PTA 協議会

口座引き落とし

○堺市 PTA 協議会

銀行振込のため、キャッシュレス集金はしていません。

○相模原市 P T A 連絡協議会／京都市 PTA 連絡協議会／（一社）北九州市 PTA 協議会

横浜市 PTA 連絡協議会

行っていない

7、協議会の必要性を問われた際、どのように説明されていますか

○相模原市 P T A 連絡協議会

スケールメリットを活かした市長部局への要望 プラスの情報共有や課題共有

○静岡市 PTA 連絡協議会

協議会の必要性について問われた際は、次の点をお伝えしています。

- 1) 行政庁に対して保護者の声を伝える全体組織が必要(要望活動)
- 2) 子ども総合補償制度の運営を行える全体組織が必要
- 3) 単位 PTA の活動をサポートする組織が必要(単位 PTA は保護者のサポーター、市 P 連は単位 PTA のサポーター)

静岡市 P 連が行っている単 P に対する具体的なサポート活動としては、LINE 公式アカウントやブロック(近隣校)の情報交換を通じた単位 PTA の活動共有、お困り事の共有、解決のためのサポート活動(出張市 P 連)等があります。

○堺市 PTA 協議会

個ではなく団体であることの存在意義を説明しています。

○京都市 PTA 連絡協議会

- ・学校と保護者がお互いを理解し、より良い教育環境にするため。
- ・保護者にとっては現代の教育環境や社会の現状などについて可能な範囲で理解する必要があり、研修会などに参加する機会を設けることで、学校や自身の課題解決につなげるため。
- ・複数の学校が交流することで、多くの意見として行政に要望するため

○(一社)北九州市 PTA 協議会

市 PTA 協議会の役割と目的について改めて考え、私たち協議会メンバーがどういった心構えで活動を行うかを「 credo 」としてまとめました。これを名刺の裏面に記載したり、会議などの際に紹介したりしています。

↓

私たちは北九州市のすべての子ども一人一人のために

- 1 学校の応援団として教職員と協力し、子どもたちの健全育成を縁の下で支えます
- 2 各学校 PTA の悩みや課題またその解決策を共有し本音で話せる同志の輪を広げます
- 3 ボランティア精神あふれる保護者を発掘し地域活動を支える人材として送り出します
- 4 同じ目的を持って活動する団体や行政と協働し子育てしやすい地域づくりを行います
- 5 活動を通じて自らを高め、親としてまた社会人として豊かな人生を送る糧とします

○熊本市 PTA 協議会

仲間づくり・単 P での悩みに対しての解決の共有が出来る・学校や行政に提言できる組織・イベント等のやり方や活動事例を知る機会となる。

○横浜市 PTA 連絡協議会

単 P や区部 P 連の活動をサポートすることと横のつながりの担保

8、部活動の地域移行の現状についてお聞かせください。

(例：実施状況、開始時期、保護者・学校・地域の反応、問題点、PTAの関与など)

○相模原市PTA連絡協議会

次の項目についてある程度の方向性は出されたが、実際はこれからである
地域における中学校部活動移行の受け皿、指導者の質と量の確保、地域移行後の活動場所、費用つ単の在り方について、試合や発表の場への参加資格の担保及び参加資格の担保及び活動に係る諸問題について

○静岡市PTA連絡協議会

今年の3月に、2027年9月をもって市立中学校の部活動が完全に廃止すると市長から発表がありました。部活動廃止後は静岡市が運営する地域クラブ活動が子どもたちの文化スポーツ活動の受け皿となる予定ですが、まだその詳細は発表されていません。今のところ保護者から大きな反応はありませんが、地域クラブ活動にかかる保護者の費用負担がどの程度になるのか、また、部活動保護者会が保有している繰越金の処分方法や楽器・道具等所有物品の処分方法などがわからないという声も聞こえてきています。単位PTAが部活動廃止へどの程度関与しているかは確認できていませんが、市P連としては市長発表後の今年4月に、地域クラブ活動の準備を進めている市の担当部署に対し「保護者に対する適時適切な情報提供のお願い」を口頭で申し入れました。

○京都市PTA連絡協議会

子どもの学校例として

限定した部活において、試験的にスポーツクラブに移行

開始前後に説明・報告会を実施し、課題を整理

PTAの関与なし

○千葉市PTA連絡協議会

・中学校の生徒は、ピーク時の45,260人(S61)と比較し、半減2万人以上減少している中、文化部参加率は横ばいが続くも、運動部参加率は漸減傾向。

2023年から部活動地域移行モデル事業開始。児童生徒・保護者・教職員・実施クラブへのアンケートなどを取り、2025年すべての中学校(54校)で、複数部活の実証事業

を実施。令和8年度中に休日の部活動は全て地域クラブへ移行予定。

全体的な指導者不足はあるが、特に文科系の指導者不足。運用経費と費用負担の問題。

千葉市が、事業者と連携し、人材バンク等を活用して地域指導者を確保。

大会参加、顧問の同行、地域指導者との連携(アプリ)等の課題はある。

PTAは関与無し、協議会として地域移行推進委員会への参加

○（一社）北九州市 PTA 協議会

実施状況、開始時期

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kyouiku/03200068.html>

保護者・学校・地域の反応

多くの保護者は地域展開について知らない（特に対象となる小学校高学年）

学校（長）はあまり前向きではなく、面倒に感じている印象

地域は校区によって温度差があるものの関心は高い

問題点

地域格差をどうするか（人的リソースや学校ごとの距離など拠点型部活動ができるかどうか）に区や地域によって開きがある）

PTA の関与

現状の部活動の保護者会をベースに地域クラブを作っていくとスムーズに移行できると感じるが、そこに PTA としてどこまで関与できるか、すべきかについては各学校で十分に合意形成が必要だと考える。一方でしっかり関わることで、PTA の存在意義を高められるチャンスだとも感じている。

○熊本市 PTA 協議会

（小学校）は地域以降で、受け皿がある所は継続・ない所はとなり地域との合同またはクラブチームへ移行

（中学校）令和 9 年～教員や人材バンク活用を行いながら運用予定。

時給換算を行い支払を行っていく予定。

○堺市 PTA 協議会

実施に向けての準備段階

○横浜市 PTA 連絡協議会

市として議論検討中